

# 令和4年度土浦市の予算

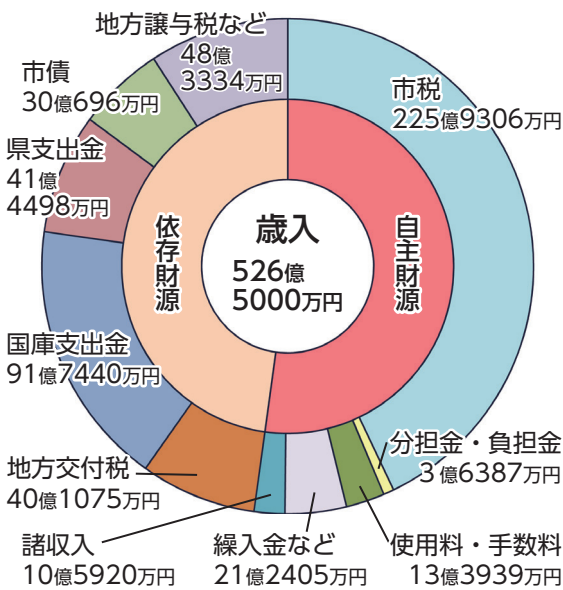
令和4年度は、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、新たな社会経済情勢の変化に柔軟かつ的確に対応し、「夢のある、元気のある土浦」を実現するため、未来に向けた変化への一歩を踏み出す予算を編成しました。

主な施策は、2～5ページに掲載しています。

固財政課 ☎826-1111 内線2243)

一般会計	526億5000万円 (対前年度比5.9%増)
特別会計	414億5000万円 (対前年度比0.9%増)
全会計合計	941億円 (対前年度比3.6%増)

## 一般会計 歳入



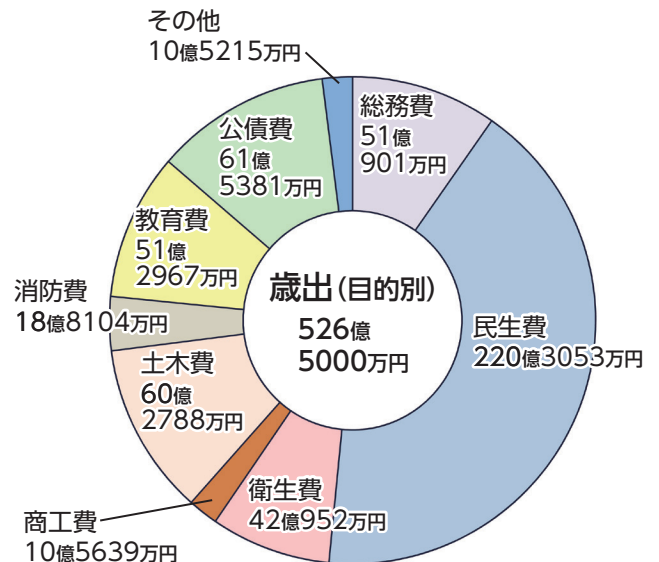
自主財源は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた経済社会活動の回復を見込んだ市税の増などにより、対前年度比7.0%の増となり、平成30年度から引き続き、全体の5割を上回りました。依存財源は、感染症対策にともなう国庫支出金の増などにより、対前年度比4.7%の増となりました。

自主財源	
市税	市民税や固定資産税などの税金
分担金・負担金	保育料など特定の受益者からのお金
使用料・手数料	公共施設の使用料や住民票発行などの手数料
繰入金など	基金からの繰入金や財産収入など
諸収入	延滞金など、ほかのどの区分にも属さないお金
依存財源	
地方交付税	財政状況に応じて国から交付されるお金
国庫支出金	特定の事業を行うため国から交付されるお金
県支出金	特定の事業を行うため県から交付されるお金
市債	多額の資金を要する際などに借りるお金
地方譲与税など	国税のうち一部が市に譲与される地方譲与税、地方交付金など

## 一般会計 歳出(目的別)

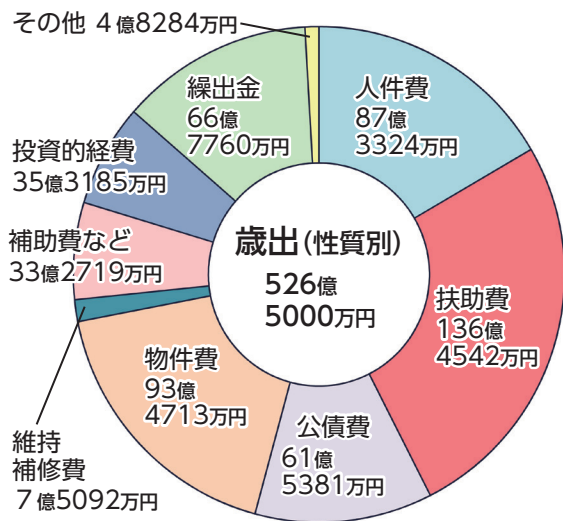
企業誘致事業費の増により、商工費は対前年度比24.1%の増となりました。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増などにより、衛生費も対前年度比15.7%の増となりました。

総務費	全般的な管理事務や徴税、選挙など
民生費	高齢者・障害者の福祉や子育て支援など
衛生費	保健衛生やごみ処理、環境保全など
商工費	商工業の振興や観光など
土木費	道路・公園などの整備や都市計画など
消防費	消防団や消防施設整備など
教育費	学校教育や文化・スポーツなど
公債費	借入金の返済に要する経費
その他	議会費、農林水産業費、災害復旧費など



一般会計

# 歳出(性質別)



人件費、扶助費、公債費で全体の約半分を占めています。これらは義務的経費と呼ばれ、歳入の状況にかかわらず支出しなければならない経費で、この割合が小さいほど財政の弾力性があるとされています。

人件費	職員の給料や手当などの経費
扶助費	児童や高齢者などを援助する経費
公債費	借入金の返済に要する経費
物件費	備品などの購入経費や委託料、光熱水費など
維持補修費	市の施設などの維持管理経費
補助費など	公益的な事業などに対する補助金や負担金
投資的経費	道路や施設の建設経費や災害復旧費など
繰出金	一般会計から特別会計に支出するお金
その他	貸付金や出資金など

特別会計

# 予算額

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の収入と支出により、一般会計と分離して経理を行う会計です。

高齢化により後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の規模はそれぞれ、対前年度比6.5%、2.3%の増となっており、特別会計全体の規模は対前年度比0.9%の増となりました。

会計名	予算額
公共用地先行取得事業	5億7462万円
駐車場事業	1億2980万円
国民健康保険	142億1573万円
後期高齢者医療	22億 867万円
介護保険	124億 477万円
農業集落排水事業	1億1321万円
下水道事業	72億2463万円
水道事業	45億7857万円
計	414億5000万円

## 市民1人あたりの市の予算 … 37万1395円

福祉の充実

15万5404円(民生費)



市債の返済

4万3409円(公債費)



まちづくりの推進

4万2521円(土木費)



教育の充実

3万6185円(教育費)



行政の運営

3万6039円(総務費)



保健の充実や  
快適な暮らしづくり

2万9694円(衛生費)



商業や農業の振興など

1万4874円  
(商工・農林水産業費など)



消防活動

1万3269円(消防費)



※令和4年2月1日現在の人口14万1763人で算出